

関西圏女子大学発・産学連携 ダイバーシティ推進ネットワーク

参画機関参集 初顔合わせ会

本ネットワークの参画機関は34機関となりました(2022年10月現在)。これまで本事業のHPより情報提供を行ってまいりましたが、この度、参画機関の初顔合わせ会を開催し、交流を深めると共に、これからの活動について意見交換を行います。

参画機関一覧(50音順)

大学・高等専門学校
大阪樟蔭女子大学・大阪女学院大学・京都光華女子大学・京都女子大学・京都ノートルダム女子大学・神戸海星女子学院大学・神戸松蔭女子学院大学・神戸女学院大学・神戸親和女子大学・園田学園女子大学・同志社女子大学・奈良県立医科大学・奈良県立大学・奈良工業高等専門学校・奈良女子大学・奈良先端科学技術大学院大学・梅花女子大学・武庫川女子大学

企業・団体

佐藤薬品工業株式会社・一般社団法人産学協働イノベーション人材育成協議会・第一生命保険株式会社・Daigasグループ 大阪ガス・高の原中央病院・玉井産業株式会社・帝人フロンティア株式会社・凸版印刷株式会社・奈良経済同友会・公益財団法人奈良県地域産業振興センター・奈良県中小企業団体中央会・南都銀行・毎日新聞社・名阪食品株式会社・株式会社プロアシスト・ワキ製菓株式会社

日時

2022年
12月1日 木 14:30-16:00

オンライン(Zoom)会議 ホスト:奈良女子大学

プログラム

司会: 安田恵子(ダイバーシティ推進センター 特任教授)

- ▼開会挨拶 星野聡子(奈良女子大学学長補佐・男女共同参画推進機構長、ダイバーシティ推進センター 副センター長)
- ▼ネットワーク設立までの経緯、アンケート結果報告 春本晃江(ダイバーシティ推進センター 特任教授)
- ▼各機関の紹介 奈良女子大学、奈良工業高等専門学校、武庫川女子大学、株式会社プロアシスト、帝人フロンティア株式会社、佐藤薬品工業株式会社、(以下50音順)大阪樟蔭女子大学、大阪女学院大学、神戸松蔭女子学院大学、神戸女学院大学、園田学園女子大学、第一生命保険株式会社、凸版印刷株式会社、奈良県地域産業振興センター、奈良先端科学技術大学院大学
- ▼閉会挨拶 安田恵子(ダイバーシティ推進センター 特任教授)

お問い合わせ

奈良女子大学ダイバーシティ推進センター
kansai-district@cc.nara-wu.ac.jp

「関西圏女子大学発・産学連携 ダイバーシティ推進ネットワーク」 設立までの経緯とアンケート結果報告

奈良女子大学ダイバーシティ推進センター 特任教授
「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」
奈良女子大学 実施責任者

春本 晃江



文部科学省科学技術人材育成費補助事業
ダイバーシティ研究環境
実現イニシアティブ
(牽引型)
2019-2024

奈良から、関西から、元気を全国へ！
～女性研究者の支援を牽引する私たちの提案～

代表機関 **奈良女子大学**

共同実施機関 **奈良工業高等専門学校**
武庫川女子大学
株式会社プロアシスト
帝人フロンティア株式会社
佐藤薬品工業株式会社



奈良高専



武庫川女子大学

Proassist 株式会社 プロアシスト

帝人フロンティア株式会社

佐藤薬品工業株式会社
SATO YAKUHIN KOGYO CO., LTD

医薬品受託加工のリーディングカンパニー


1. 主要な取組と選定時コメント |

(1) 主な取組

- 女性研究者比率、女性管理職比率の向上
- 「訪問型」病児・病後児保育システムのモデル構築
- 「**関西圏女子大学発・産学連携ダイバーシティ推進ネットワーク**」構築
- 女性研究者への **研究費支援・異分野交流支援・共同研究支援等**
- 女性研究者の研究力向上のための**講演会・セミナー等**


(2) 選定時コメント

「訪問型病児・病後児保育システム」については、（中略）地域の医師会、看護協会、医科大学、弁護士会等と協働し、安全・安心かつ利用効率の高いシステムを構築し、訪問型病児・病後児保育の全国モデルとなることを期待する。さらに、連携する2女子大学の協働による「**関西圏女子大学ダイバーシティ連絡協議会**」の効率的な運営、さらなる全国展開を期待する。（後略）

 **武庫川女子大学**
(共同実施機関)

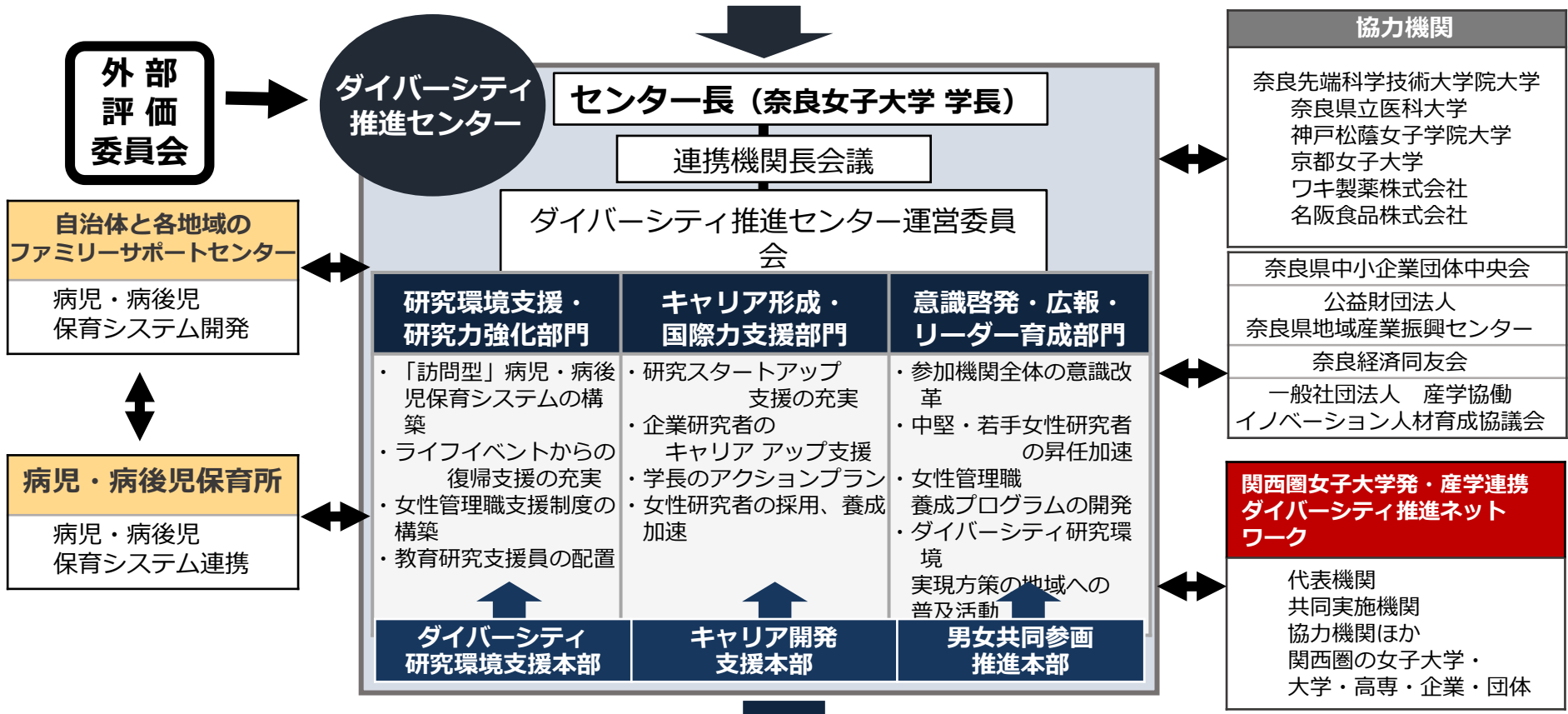
 **奈良女子大学**
(代表機関)

 **奈良高専**
(共同実施機関)

 **株式会社プロアシスト**
(共同実施機関)

 **佐藤薬品工業株式会社**
SATO YAKUHIN KOGYO CO.,LTD
(共同実施機関)

帝人フロンティア株式会社
(共同実施機関)



関西圏女子大学・奈良県下の大学・高専と関西圏企業における研究環境整備
高い研究力をもつ女性リーダーの輩出 関西活性化の推進・全国への波及効果

2. 取組の具体例

「関西圏女子大学発・産学連携ダイバーシティ推進ネットワーク」の構築

現状：
関西圏女子大学・中小企業では
単独でのダイバーシティ推進が難しい

趣旨：
主に関西圏女子大学・企業におけるダイ
バーシティ推進のための 情報交換・意識
啓発・共同研究の推進 => 全国へ展開

「関西圏女子大学発・産学連携
ダイバーシティ推進ネットワーク」
HPを新設

関西圏女子大学発
産学連携ダイバーシティ推進ネットワーク

本ネットワークでは、関西圏の女子大学をはじめとした国公立大学、高等専門学校、自治体、企業等と相互に連携・協力し、関西圏のダイバーシティの推進を図っています。

[続きを見る >>](#)

TOPICS

2022年1月28日 イベント
2022.2.21(月) 中間総括シンポジウム「女性研究者支援の歩みとこれから」開催について

2021年10月15日 イベント
2021.11.11、2022.1.14開催 令和3年度“知る・学ぶ・伝えるequality”連続講座の開催について

2021年8月3日 イベント
2021.9.7 (火) 武庫川女子大学 「女性が働き続けるために～働く女性と学生のトークイベント～」を開催します

2021年7月9日 報告
2021.7.3(土) 武庫川女子大学「2021年度第1回 異分野研究交流カフェ」を開催しました

2021年5月31日 報告

2. 取組の具体例

「関西圏女子大学発・産学連携ダイバーシティ推進ネットワーク」の参画機関

大学・高等専門学校



企業・団体



参画機関 (令和4年10月現在)

- 関西圏女子大学 14機関
- その他(大学・高専) 4機関
- 企業・団体 16機関
- 計 34機関

取組:

- 関西圏女子大学及び企業・団体への参画の呼びかけ
- HPの新設・メルマガの配信
- 本事業の取組紹介とイベント等への参加依頼
- 情報交換・意識啓発・共同研究等

2. 取組の具体例

連携機関が共同して行った、女性研究者の研究力強化に向けた取組例
シンポジウム

2019年度	キックオフシンポジウム
2020年度	「附属病院をもたない機関における病児・病後児保育の実現に向けて」
2021年度	中間総括シンポジウム

キックオフシンポジウム
2021.2.18
女性研究者支援の歩みとこれから

意識啓発のためのセミナー・講演会
研究力向上のためのセミナー・講演会
管理職向けFD研修会

自己肯定感がえのない自分と出会うために
講師：根岸 和政 氏
2021年1月18日 15:00-16:30

ウィズコロナの時代を生きる大切なこと
講師：日下 紀子 氏
2021年1月18日 15:00-16:30

女性研究者研究力向上のための英語プレゼンテーションセミナー
2021年3月8日(月)、9日(火)、10日(水) 3日間

研究資金獲得セミナー
～審査委員に重要性が伝わる提案書の書き方～
講師：村木 厚子 氏
2022年1月14日 14:00-15:30

犯罪を拓く「男らしさの呪い」
講師：寮 美千子 氏
2020年12月7日 15:00-17:00

管理職向けFD研修会
2020年10月5日 13:30~15:30
講師：佐々木常夫 氏

このセミナーでは、受講者が自分の研究についての説明や議論ができるようになります。Speaking, Writing, Academic skillsのトレーニングを行います。レスター大学の先生から、英語での効果的なプレゼンテーションの手法を学べる貴重な機会です。

探択される研究計画書の具体的検討会
8/14(金)・8/15(土)
8/27(木) 13:00-15:10

オンライン開催 後日オンデマンド配信
2022年1月14日 14:00-15:30

質疑応答 閉会のあいさつ
15:05 質疑応答
15:25 閉会のあいさつ

お問い合わせ：ダイバーシティ推進センター(奈良女子大学)
diversity-center@cc.nara-wu.ac.jp

（1）評価結果

総合評価	目標達成度	取組	取組の成果	実施体制	今後の進め方
A	a	a	a	a	a

総合評価：A（所期の計画と同等の取組が行われている）

（2）評価コメント

中間評価コメントより

関西圏の2つの女子大学、1つの工業高等専門学校、3つの企業が連携し、女性研究者・技術者の活躍促進を目指した研究環境整備の一環として、既存の「訪問型」子育て支援システム（ならっこネット）を活用した「訪問型」病児・病後児保育システムの基盤を整備したことは評価できる。既に当該システムの試験運用を開始しており、今後の本格運用、他機関への波及効果が期待できる。また、女性研究者・技術者の採用、上位職への登用に積極的に取り組み、連携機関の大半で女性研究者採用比率が50%以上に上昇したことは評価できる。さらに、関西圏の女子大学及び奈良県内企業等21機関が参画する「関西圏女子大学発・産学連携ダイバーシティ推進ネットワーク」を構築し、意識啓発や共同研究を進めており、産学共同研究における女性研究者・技術者の活躍促進が期待できる。今後は、6機関、さらにはネットワークに参画する21機関の連携を更に深め、実質的な成果を挙げることを期待する。

「関西圏女子大学発・産学連携ダイバーシティ推進ネットワーク」 参画機関へのアンケート調査

- アンケート実施対象：33参画機関(大学・高専18、企業11、その他団体等4、大学・高専のうち女子大学14)
- 方法：オンラインで配信・回答(Google Form)
- アンケート実施期間：2022年6月7日～6月30日
- 回答数：17機関(内訳：大学・高専11、企業4、その他団体等2、大学・高専のうち女子大学は8)

1) 貴学(貴社)では、ダイバーシティ推進や男女共同参画に関わる部署を設置されていますか。設置されていれば、その部署名をお答えください。設置されていない場合でも、それらを扱っている係などを置いておられましたらお書きください。

回答

している 7 (大学・高専5/11 うち女子大学3/8、企業2/4、その他団体等0/2)

していない 10 (大学・高専6/11 うち女子大学5/8、企業2/4、その他団体等2/2)

「している」と回答した機関の部署(ダイバーシティ(推進)委員会、男女共同参画(推進)室、男女共同参画推進機構、女性キャリア開発研究センター、人事部D&I人権啓発室、女性活躍総合研究所)

「していない」と回答した機関の代替部署記入あり6(総務部・人事部、事業化推進課、研究・教育企画室、総務部、総務課・学生課、社会連携推進センター)代替部署の記入なし 4

まとめ

ダイバーシティ推進や男女共同参画に関わる部署を設置しているかどうかについては、「している」と回答した機関が約50%(団体を除く)であり、「していない」機関では、総務部(課)等がダイバーシティ推進や男女共同参画推進業務を行っている。記入のない機関も4機関あり、どこが業務を行っているのかは不明。また、女子大学では半数以上で部署を設置していないという回答であった。

2) 貴学(貴社)では、「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)」に基づく一般事業主行動計画を策定・公開しておられますか。

回答

策定している 9(大学・高専5/11 うち女子大学3/8、企業4/4、その他団体等0/2)

策定していない 8(大学・高専6/11 うち女子大学5/8、企業0/4、その他団体等2/2)

まとめ

「女性活躍推進法」に基づく行動計画を策定しているかについては、「策定している」と回答した機関が約50%(団体を除く)であり、企業は義務付けられているためか100%策定・公表しているが、大学・高専では「していない」が約半数で、女子大学では半数以上が策定していなかった。

- 3)「関西圏女子大学発・産学連携ダイバーシティ推進ネットワーク」で、提供してほしい情報などがありましたら、希望するものを選んでください。
- 4) 上記について具体的なアイデアがあればご記入ください。



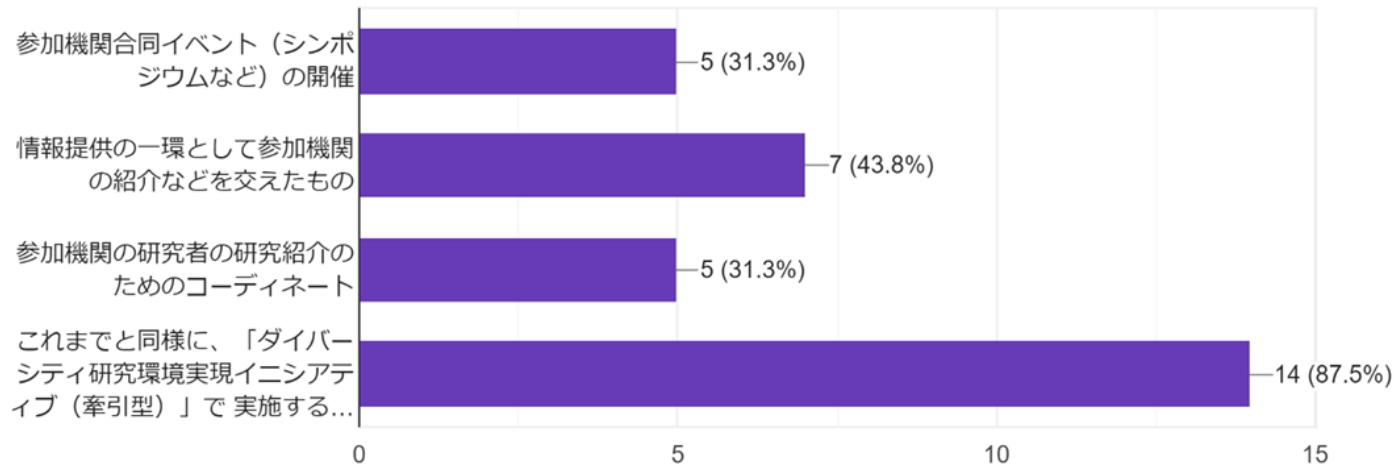
提供してほしい情報（自由記述）

- ・最新ニュースやトピックスの情報
- ・他社（他大学）の例
- ・メールでの事例配信

まとめ

50%の機関からしか回答が得られていないが、提供してほしい情報については、教員・学生・社員のキャリアアップに関する情報、研究力向上に関する情報を望む回答が比較的多く、ワーク・ライフ・バランスに関する情報を上回った。今後HPで配信する内容の参考としたい。

- 5) 今後のこのネットワークの取り組みについて、希望するものがあれば選んでください。
6) 上記について具体的なアイデアがあればご記入ください。



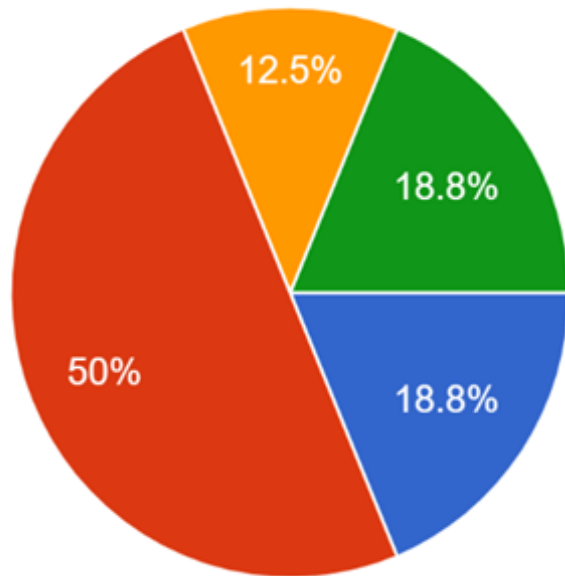
提供してほしい情報 自由記述

- ・参加機関における課題解決の取り組みなどの紹介をしていただくと参考になります。

まとめ

ネットワークの取組については、これまでと同様に、「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）」事業で実施する講演会やセミナーの紹介が最も多く、シンポジウム等の開催や参加機関の紹介、研究紹介のコーディネートなどを大きく上まわった。50%の機関からしか回答が得られていないが、ネットワークを活用してイベントを行うよりも、事業の紹介がよいという意見は、今後の活動の参考としたい。

7) 今後、このネットワークのあり方についての意見交換会やワークショップを行うことを企画しています。ご参加について伺います。



- ぜひ参加したい
- 日程等状況が許せば参加したい
- 案を提供いただき、意見を述べる形で関与したい
- 中心となる機関で決めていただきたい

まとめ

今後、意見交換会やワークショップを行うことについては、「ぜひ参加したい」が約20%、「日程等状況が許せば参加したい」が50%で、約7割は参加に前向きである。一方で、中心となる機関で決めていただきたい等、3割強は多少消極的である。アンケートに参加しなかった50%の機関の意向は不明だが、比較的消極的と考えると、参加に前向きな機関は比較的少ないという可能性がある。今後の活動の参考としたい。

8) 貴学(貴社)では、ダイバーシティ化を進める上で、どのような課題があるとお考えですか。差し支えなければお書きください。

組織や体制の問題

- ・軸となる部局が明確でなく、具体的な検討がしづらい
- ・ダイバーシティのカバーする部分が多岐にわたるため、調整が必要

人員・時間的な制約

- ・日々の業務に追われ、組織としての業務遂行を図るべきところできていない
- ・部署と人員の欠如

その他 各機関の課題

- ・創業以来、性別・国別等に拘らずに進めてきましたが、職種上どうしても偏りが出ます。ダイバーシティは適材適所も考慮していくべきかと考えます
- ・女性管理職の絶対数が少なく2025年度までに現状の倍増を考えているが、もう少し時間はかかりそうです。管理職手前の女性社員にいくらか昇進をためらう気持ちがあるかもしれません。
- ・多様性を学習環境だけでなく教育課程や共同研究にどのように落とし込んでゆくか
- ・女性管理者の育成、意識啓発

まとめ

ダイバーシティや男女共同参画の進捗状況や課題は、それぞれの機関でかなり異なっている。組織の体制や構成員の意識の点で、専門的に扱う部署がない、人材が足りない、時間も余裕もないというのが現実かもしれない。このような実態を把握したうえで、それぞれの課題を解決するために、本ネットワークで何ができるのかを考えていきたい。

「関西圏女子大学発・産学連携ダイバーシティ推進ネットワーク」 まとめと今後の展望

- 参画機関は**34機関**となった(女子大学、共学大学、高専、企業、団体)
- ダイバーシティを推進する上で、参画機関は組織体制や構成員の意識、人的資源等で**多様である**
- **関西圏の多くの女子大学が参画**していること、比較的規模の小さい企業や団体も参画していることから、他のネットワークにはない特徴をもち、今後のダイバーシティの推進が期待されている
- 今後は、各機関の状況を理解した上で、各機関の課題を解決するために、より実質的な活動を行っていきたい

ご清聴ありがとうございました